

ご紹介作品

詩集「マリオネットのように雨は」 にしもとめぐみ

プロフィール 雲雀丘学園高等学校 15 期卒業生（旧姓 久山 恵）
京都外国語大学フランス語科卒
兵庫県現代詩協会会員、めらんじゅ同人、
大阪文学学校在籍中、

ご挨拶

はじめまして、にしもとめぐみです。このたび第一詩集を発刊しました。
普通の主婦の日々と非日常、季節のうつろい、家族とは・・・、雨の連作など。
みなさんに読んで頂けると嬉しいです。よろしく願いいたします。

株式会社濡標より詩集「マリオネットのように雨は」アップ中です。

<http://www.miotukushi.co.jp/>←こちらから購入できます。

誌時評

にしもとめぐみ「マリオネットのように雨は」（濡標）なんとも瀟洒な佇まいの 37 篇。
どの作品にもわずかに水分を含んだ風が流れていて、「ここ」から「そこ」へとひそかに誘
うかのようだ。ごくささやかなモチーフも軽さを増すことで誌になり得るし、逆に、重い
モチーフは重さを増すことで誌になり得る。（山田兼士）

帯文

十月の夕暮れの電車は 空海をゆき細長い深海魚だ（「四時半のあいだに」より）
なにげない生活の一瞬一瞬が誌のよろこびや誌のかなしみに結びついてしむような、そん
な感傷に浸りつつ（だが決して溺れず）詩人は斜め 15 度ほどの絶妙の高度から誌の生まれ
る現場を描き出している。描くことがそのまま創ることであるかのような表現こそが誌的
創造の原義であったことをあざやかに示してくれる作品だ。（山田兼士）

山田兼士 大阪芸術大学文芸科教授、詩評論家、詩人、ボードレール研究家